

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に 要する期間
1	36	日常のさまざまな場面で人格を損ねないように心掛けているものの過度の方言などで言葉掛けがきつくなっている。職員間で注意し合っているが、十分とはいえない	職員同士、注意し合える環境作りを行い、利用者の方々に不愉快な思いをさせないように相手の立場に立ち、どう感じているのかを考えながら、毎日のケアに努めていきたい。	日頃より、言葉使いや態度には気をつけているが業務に追われ余裕がなくなると言葉掛けがきつくなるため、余裕を持った行動を心掛けをする。ミーティング時、職員間で話し合いを行っている。	1ヶ月
2	34	救急法などの研修は受けていたり、マニュアルはあるものの、いざと言う時に焦りが出てしまい正しい判断が出来るか不安が残る。	急変時に正しい判断や行動が出来ることで、助かる命もあるため、正しい判断や行動が起こせるように日頃から連絡網の確認や応急手当の方法を話しあったり、確認していく。	AEDを始め、救急法の講習を受けてはいるが、いざと言う時は焦りが出るため、マニュアルや連絡網の確認をミーティング時に話し合いを行う。	3ヶ月
3	41	以前より、お茶時や食事時に水分補給の大切さを理解して頂けるように話しはしているものの、水分をあまり取りたがらない利用者の方もいる。	以前、ミーティング内の研修で水分補給について、学び高齢者の脱水症の危険をより理解したため、利用者の方々にも今まで以上に理解して頂けるように水分補給の確保に努めていきたい。また、言葉の理解力が低下し他入居者と一緒に水分補給が出来ない方については、他の方法を検	水分補給が苦手な方に対しては、時間を掛けて飲んで頂けるように、ご飯前より飲んで頂いたり、こまめに声を掛け脱水症にならないように心掛けている。水分補給時などで水分補給が出来ない時は、いつでも水分補給が出来るように気をつけている。	3ヶ月
4	21	利用者同士の関係を把握し、孤立しがちな利用者やトラブルになりそう利用者に対し、職員が間に入ることで回避しているが、些細なことで口論になっている。	利用者同士の関係が良好になるように、些細なことでも職員間で情報の共有を図り、口論にならないように努めていきたい。	聞き間違いから、トラブルに発展するときもあるため、職員が間に入ることでトラブルにならないように気をつけている。利用者間で好き嫌いもあるため、職員同士情報の共有を図り、席の配置を換えたり、個別対応をしている。	1ヶ月
5	42	毎食後の歯磨きについて、週1回の歯科往診により、口腔ケアを行っているため、以前よりきれいに出来ているが介助に入ること嫌がる利用者もいるため、磨き残しがある。	口腔ケアをしっかり行う事で入れ歯の清潔保持や 口臭・虫歯・歯周病などの防止、食欲増進などにも繋がるため口腔ケアの大切さとやり方を職員間で情報の共有を図り、磨き残しがないようにする。	ミーティング時に、磨き方を話し合うことでケアの統一を図っている。往診時にDrや歯科衛生士の指導を受けた事を通院・往診記録に記入し閲覧することで情報の共有を図っている。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。